



日本みどりのプロジェクト



講演テーマ：100年の森を育て、いのちの多様性を豊かにする取組
An initiative to grow a 100-year-old-forest and enrich the diversity of our lives

公益財団法人大阪観光局 理事長 溝畑 宏

(日本みどりのプロジェクト推進協議会
副会長 兼 事務総長 溝畑 宏)

**世界有数の自然との共生で世代を超えて、
豊かな生活とみどりを繋いでいく**

～Green for Well-Being , Save The Earth～

①日本国民の自然（みどり・花）への意識醸成

自然を愛し、深く理解し、活用して守っていくという意識を日本国民一億三千万人の間で育み共有する

②自然（みどり・花）の事業創出

自然に関わる様々な産業の連携を推進してより多くの事業（Green Business）を創出する

③世界に向けた自然（みどり・花）の情報発信

自然を通して、大阪・関西万博や花博の場での「日本の自然のショーケース」として、自然保護と利活用の精神を世界に発信していく



「日本みどりのプロジェクト」が**好循環**を生み出す！

《学ぶ》

《増やす》

《活かす》

《伝える》

1. **学 ぶ**：国民的運動につながる、自然（みどり）に触れ、**学ぶ機会の創出**
2. **増やす**：教育機関や企業との協働による植樹や都市緑化の推進とSDGs 関連の**新事業の創出**
3. **活かす**：国立・国定公園の自然環境保全とともに、上質化を図り**持続可能な利用**や、上質な**自然環境の効用を活用**して行う活動の推進
4. **伝える**：大阪・関西万博などを活用した**国内外への情報発信**



日本みどりのプロジェクトのビジョン

世界的な気候変動への対応は、**国・自治体や企業にSDGsやESGへの取組みの具体化へ繋がる。**
世界でも有数の森林比率を誇る日本は自然を整備し守り、活用していく段階。
コロナ禍の下、自然に触れる新たなニーズが生まれ、各地での取組みの機会が拡大。

日本みどりのプロジェクト推進協議会では、日本の自然（みどり）を核に**都市と地方が連携し、**
 以下の事項を達成する。



地方創生の実現

- ・ 交流人口の拡大を図り経済の好循環を創出
- ・ 環境を意識した新たな、商品価値、産業、ビジネスの創造による雇用創出

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ゼロカーボン・ 脱炭素社会

- ・ SDGsへの取組みを通じて、ゼロカーボン、脱炭素社会に貢献
- ・ 日本の守るべき緑を次世代へ継承
- ・ 取組みのオールジャパンへ拡大



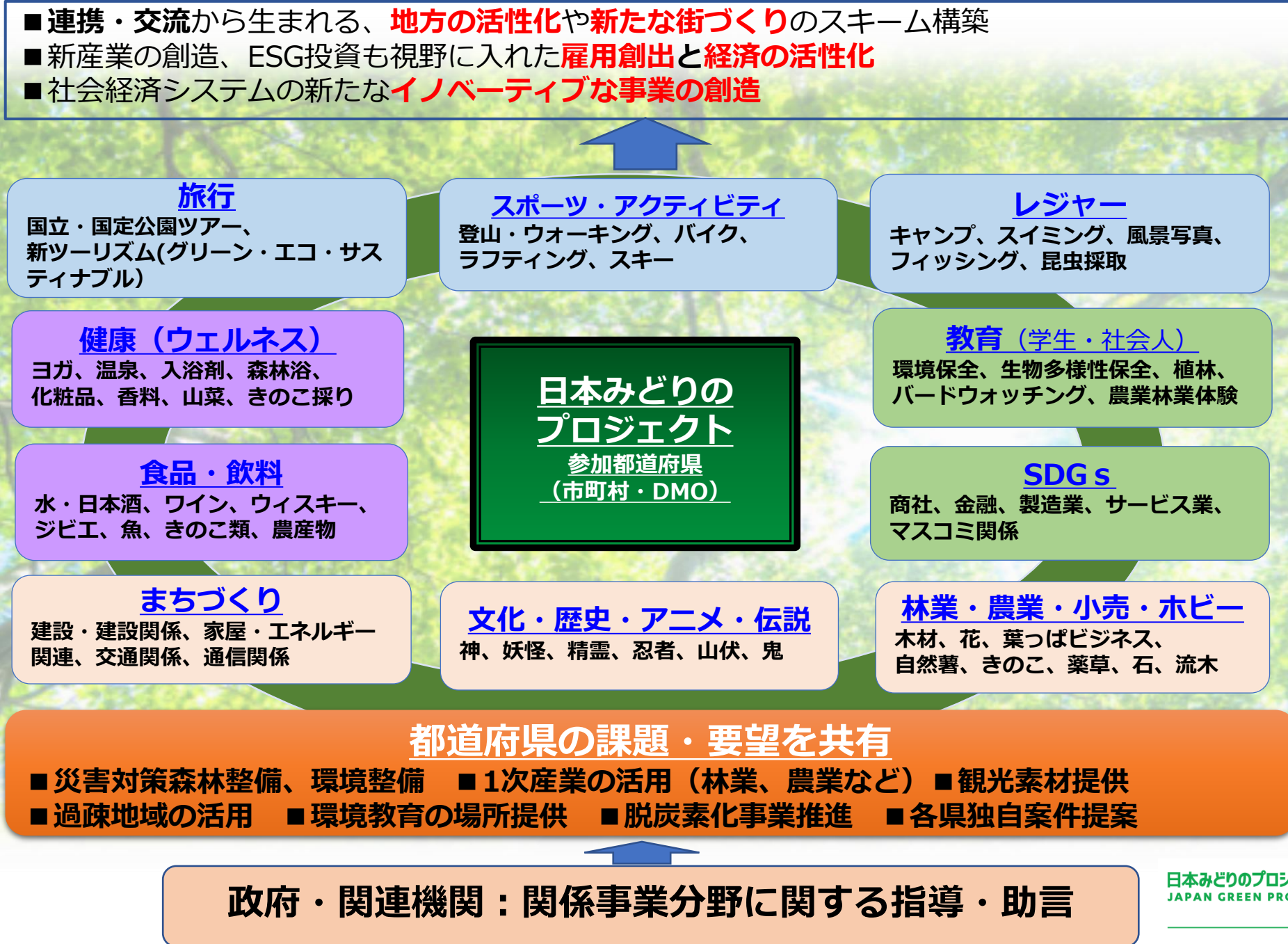
生物多様性の保全

- ・ 多様な主体との連携により生物多様性を保全
- ・ New Normalな地方創生、観光立国の実現





参画する企業と団体の連携イメージ



日本みどりのプロジェクト

会員（企業・団体・自治体等）

環境省・総務省・農水省国土交通省・林野庁・観光庁など

提言・相談

会員さまへの（提供価値）

- ネットワーク構築
国・自治体・企業横断的なネットワーク構築
- 情報発信
各プロジェクトの横断的な情報共有・国側への情報発信
- フィールド提供
行政・民間事業者が実施できるフィールドを提供する

日本みどりのプロジェクト推進協議会

阿部守一	長野県知事	濱田省司	高知県知事
一見勝之	三重県知事	平井伸治	鳥取県知事
蒲島郁夫	熊本県知事	吉村洋文	大阪府知事
花角英世	新潟県知事	玉城康裕	沖縄県知事
溝畑 宏	大阪観光局理事長	野原莞爾	長野県観光機構理事長

※12市町村

- 事務局：長野県、（一社）長野県観光機構、（公財）大阪観光局、（一社）ナショナルパークスジャパン、（一社）テラプロジェクト

アンバサダー

市川海老蔵・隈研吾・渡辺謙 ほか予定

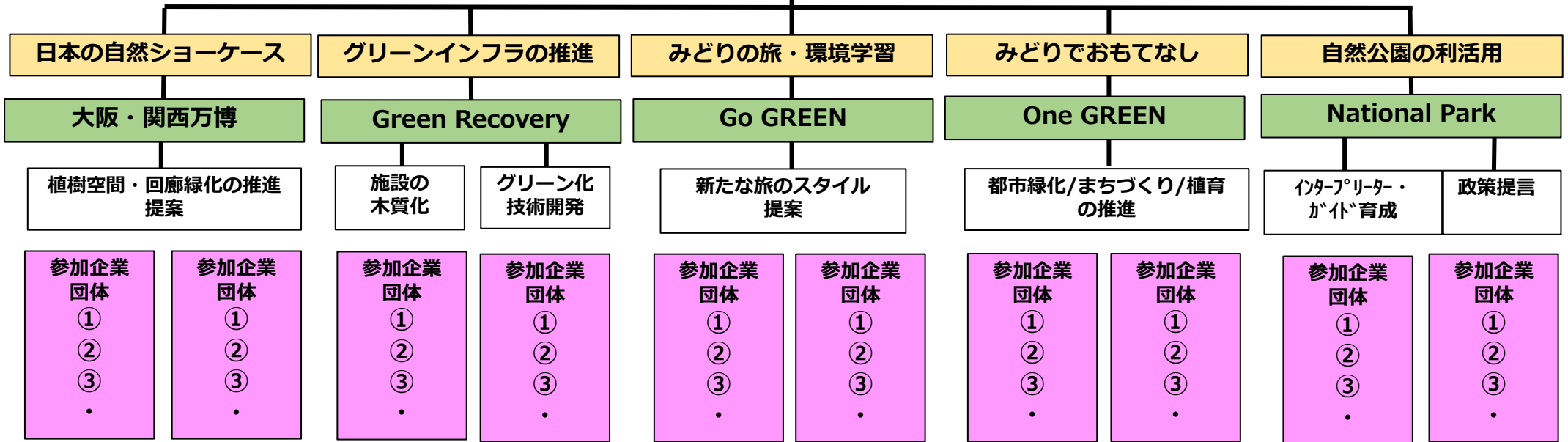
アドバイザー

涌井雅之・小林昭雄・星野佳路・田子和則 ほか予定

協力団体

日本国際博覧会協会、智の木協会 ほか予定

敬称略



プロジェクトの企画立案から事業の展開へ



① 大阪・関西万博「日本の自然のショーケース」実現プロジェクト

- ・ 日本各地の自然や木材の活用
- ・ 「日本の自然のショーケース」としての情報発信



提供：2025年日本国際博覧会協会

② Green Recovery プロジェクト

産官学連携により、コロナ禍からの経済回復と環境問題解決を同時に推進

木質化推進や国産材利活用による持続可能な林業や地域循環・自然共生社会の実現に向け、産官学連携の取り組みを推進、具体的事業の組成につなげていくことを目指す。

③ Go Green プロジェクト

自然（みどり）を核にアフターコロナを見据えた新たな旅を提案

次世代を担う若者と造成する新たな旅の提案やカーボンオフセット旅行の普及を通じ、自然環境への理解やカーボンゼロに向けた行動変容。

④ One Green プロジェクト

植樹や都市緑化の取り組みを推進、みどりの素晴らしい生活空間を創造

都市と地方が連携、地方における植樹や、都市緑化のための取り組みを行い、生活空間にみどりを取り入れ地域環境とQOL向上を目指す。

⑤ National Park プロジェクト

国立・国定公園等における保護と利用の推進

民間活力の活用により、地方自治体が抱える自然公園にかかる課題を解決、自然保護と公園の利活用を推進。規制緩和で利用促進。



日本みどりのプロジェクト
JAPAN GREEN PROJECT



日本の豊かな森林・自然・多様性を保全し、農業の活性化と食文化に貢献

プロジェクトのご紹介（令和3年度）

① 大阪・関西万博「日本の自然のショーケース」実現プロジェクト

日本各地の自然や木材の活用及び「日本の自然のショーケース」としての情報発信

日本各地の**自然や木材の活用**を推進するとともに、日本各地の**自然や日本発の先進的環境技術等の情報**を発信する「日本の自然のショーケース」の実現に向け準備を進める。

活動内容	
1	日本の森林を守る国産材（間伐材を含む）活用を提案、大阪・関西万博会場の円周大回廊（全長約2km）の木質化と静けさの森へ関与していく。 ※使用した木材は全国各地でのリユースを目指す。
2	日本みどりのプロジェクトや各会員の取り組み、会員自治体エリアの自然の景勝地などの情報を、万博会場、パビリオン、WEB上などで紹介、広く世界へ発信するための計画を策定する。
（参考）大阪・関西万博会場整備・開催計画 （（公社）2025年日本国際博覧会協会作成・2020年12月時点） <ul style="list-style-type: none"> ・土地造成 2020年度～2022年度末 ・会場内基盤・インフラ 2021年度～2022年度上期：設計 2022年度下期～2024年度末：工事 ・パビリオン 2021年度～2022年度末：設計 2023年度～2024年度末：工事 ※大阪・関西万博開催期間 2025年4月13日（日）～10月13日（月）	



提供：2025年日本国際博覧会協会



プロジェクトのご紹介（令和3年度）

② Green Recovery プロジェクト

産官学連携により、コロナ禍からの経済回復と環境問題解決を同時に推進

木質化推進や国産材利活用による持続可能な林業や地域循環・自然共生社会の実現に向け、産官学連携の取り組みを推進、具体的事業の組成につなげていくことを目指す。

活動内容	
1	<p>【木材活用セミナー】</p> <p>日本がゼロカーボン社会実現に向けシフトする中、地方部・都市部における公共・民間施設の木質化のさらなる推進と国産材利活用及び持続可能な林業を目指した取り組みや上下流連携にかかる議論を通じ、参加者同士で具体的事業の組成につなげていくことを目指す。</p> <p>〈時期〉2021年10月21日（木）</p> <p>〈場所〉長野県（飯山市）及びオンライン</p> <p>〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会</p> <p>〈参画自治体〉長野県・高知県他 〈参加者〉320名</p>
2	<p>【地域循環・自然共生フォーラム】</p> <p>神戸大学SDG s 推進室と連携し、ウィズ/アフターコロナにおける地域循環・自然共生社会についての産官学連携プロジェクト創出に向け、各地域・機関における事例発表等を実施。</p> <p>〈時期〉2021年8月28日（土）</p> <p>〈場所〉オンライン</p> <p>〈実施主体〉神戸大学SDG s 推進室地域循環・自然共生社会推進プロジェクト</p> <p>〈後援〉日本みどりのプロジェクト推進協議会</p>
3	<p>各団体におけるGreen Recovery プロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



プロジェクトのご紹介（令和3年度）

③ Go Green プロジェクト

自然（みどり）を核にアフターコロナを見据えた新たな旅を提案

次世代を担う若者と造成する新たな旅の提案やカーボンオフセット旅行の普及を通じて、自然環境への理解やカーボンゼロに向けた一人ひとりの行動変容につなげる。

活動内容	
1	<p>【若者と造成する新たな旅の提案】</p> <p>環境省の「国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業」を活用し、長野県内を舞台に、次世代を担う若者たちと一緒に新たな旅の提案や磨き上げを行い、世界に誇る日本の自然を代表する国立公園等での理念の普及を図る。</p> <p>〈時期〉2021年10月23日（土）～24日（日）</p> <p>〈場所〉長野県（松本市ほか）</p> <p>〈実施主体〉Go Green プロジェクト長野実行委員会</p> <p>〈参加者〉全国の観光を学ぶ高校生・大学生 約100～150名</p>
2	<p>【カーボンオフセット旅行の普及】</p> <p>SDGs・ゼロカーボンへの世界的な関心が高まる中、首都圏や関西圏から新幹線を利用した長野方面への旅行にカーボンオフセットを組み込んだ商品（※）を企画、販売促進を行うとともに、他地域での旅行商品造成を検討する。</p> <p>〈主催旅行会社〉日本旅行</p>
3	<p>【みどりの学習旅行の提案】</p> <p>観光中心からSDGsを学ぶための学習旅行ニーズの高まりに対応した森林・林業体験等の「みどりの学習旅行SDGsプログラム」を造成提案する。</p> <p>〈造成エリア（目的地）〉長野県、高知県等</p> <p>〈提案エリア（出発地）〉関西圏</p>
4	<p>各団体におけるGo Green プロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



（※）鉄道利用でのCO2排出量相当額の追加代金を旅行参加者に支払ってもらい、旅行会社はこの代金でJクレジットを購入、排出量の埋め合わせ（オフセット）を行う。Jクレジットの購入代金は森林整備等の活動に充てられる。



④ One Green プロジェクト

みどりの優位性を活用し、QOL向上に必要な新しいニーズを掘り起こし、産業化するための産学官連携システムの構築と運用を行う。

都市と地方の交流に資する新しいニーズを共有し、産業化するための産学官連携支援とプロジェクトづくりを行い、生活環境にみどりの素晴らしさを取り入れることで**QOL向上を目指す**。

活動内容	
1	<p>【Green Hospitality Osaka シンポジウム】 「みどりのイノベーション推進会議」（（公財）大阪観光局・（一社）テラプロジェクト共催）が主催するシンポジウムを開催、様々な主体者によるOne Green活動の取組み事例の発表を通して、新たな植・食文化“みどりでおもてなし文化”関連の産業化モデルを大阪から世界に発信する。 〈時期〉2021年11月19日（金） 〈場所〉大阪及びオンライン 〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会 （公財）大阪観光局 （一社）テラプロジェクト</p>
2	<p>【One Green プロジェクト分科会（複数回開催）】 QOL向上のために、「植・食、健康分野の新しいニーズの掘り起こしと産業化」をテーマにした新しい時代の産学官連携モデルのイメージを共有することで、これまでのみどりの産業化の課題整理と具体的なアクションプラン構築を行う。 〈時期〉2021年12月～（予定） 〈場所〉大阪及びオンライン 〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会 （一社）テラプロジェクト</p>
3	<p>各団体におけるOne Green プロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



産業化モデルの一例
みどり版ミシュランの発行
（みどり化の評価基準作り） 果樹による都市部でのみどりの回廊作り



みどりをテーマにしたコトづくり

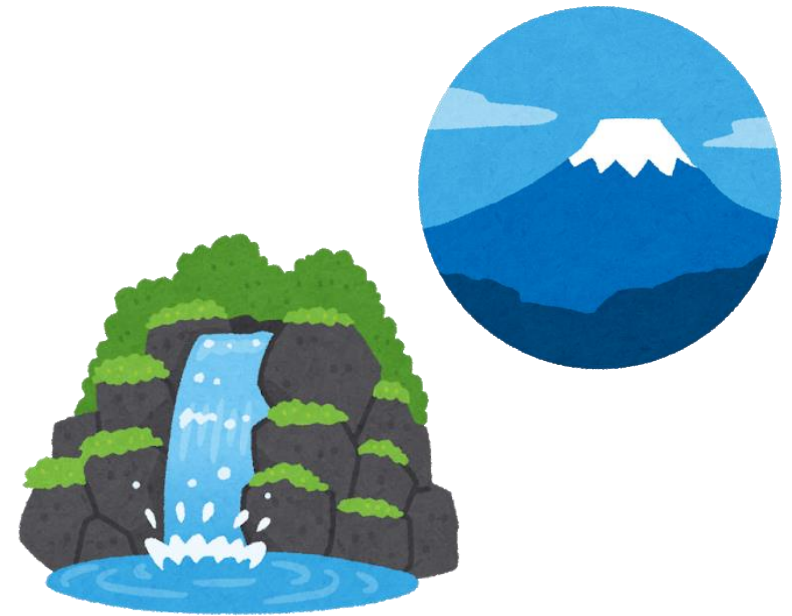
プロジェクトのご紹介（令和3年度）

⑤ National Park プロジェクト

国立・国定公園等における保護と利用の推進

民間活力の活用により、地方自治体が抱える**自然公園にかかる課題**を解決、**自然保護と公園の利活用**を推進する。

活動内容	
1	<p>【自然公園における民間活力活用プロジェクト】</p> <p>自治体・民間企業との対話を通じ、地方自治体が抱える自然公園にかかる課題（遊歩道等インフラ整備、アクティビティの充実等）に対して、民間事業者からの提案をマッチングさせることで、民間活力活用による解決を図ることを目的とした勉強会を各地で開催する。</p> <p>〈時期・場所〉 2021年5月26日（水） 鳥取県鳥取砂丘西側エリア（山陰海岸国立公園） 2021年8月5日（木）～6日（金） 長野県宮田高原（中央アルプス国定公園） 2021年度内（予定） 三重県 新潟県</p> <p>〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会</p>
2	<p>各団体におけるNational Parkプロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



過去の活動アーカイブ

■日本みどりのプロジェクト 2020年10月25日 設立総会・シンポジウム 記念写真（場所：八芳園）



■日本みどりのプロジェクト推進協議会（設立時）

会長	長野県	阿部知事
副会長	高知県	濱田知事
	三重県	鈴木知事
	鳥取県	平井知事
	熊本県	蒲島知事
	大阪観光局	溝畑理事長

基調講演 小泉環境大臣
アンバサダー 市川海老蔵氏
(VTR参加 渡辺 謙氏 隈 研吾氏)

■基調講演 環境大臣 小泉進次郎 氏



■日本みどりのプロジェクト推進協議会 設立総会 ■市川海老蔵氏 トークセッション



日本みどりのプロジェクトの取組み

育樹体験・渡辺謙氏インタビュー 「100年の森を育て、活かす」

2021.09.25実施

阿部長野県知事・溝畑大阪観光局理事長



※コロナ対策をおこなった上、マスクを外しています。

日本みどりのプロジェクト 2021年度実施事項

■ 2021年 活動（一例）

■ 2021年6月20日
市川海老蔵氏、植樹 ABMORIを開催



■ 2021年8月 中央アルプス国立公園の
利用推進に係る勉強会



■ 2021年8月 神戸大学SDGsフォーラム
「地域循環・自然共生社会のリデザイン～
グリーン成長のための産官学連携」を開催

■ 2021年8月 三重県伊賀忍者の里 にん
あつまれ！ 稲のお花見と兵糧丸作り体験教室



■ 2021年8月25日「日本みどりのプロジェクト
推進協議会」の第2回シンポジウムを開催



■ 2021年9月 環境省・日産自動車
サステナブル・ブランド国際会議2021

11月 ホスピタリティー大阪
シンポジウム実施 約200名参加
大阪・関西万博に向かう大阪の街づくりに環境問題、みどり・花の果たす役割を議論

■ 2021年9月 アンバサダー渡辺謙氏
育樹

■ 2021年10月 木材活用セミナー
隈研吾氏

WOOD CHANGE!
これからの木材活用セミナー

ゼロカーボンにつながる都市部での木材利用
森を守って生かす森林認証材
森林の活用と整備を目指して始まる森林環境税
山と地方と都市を巻き込むさまざまな動きの中、
森と木をめぐる産業イノベーションへのヒントを探る



2022年1月 地方創生SDGs国際
フォーラム)
日本みどりのプロジェクト登壇

2022年3月 環境エキスポ
「空気のみらいEXPO」 予定)
関西企業を中心とした、BtoB、
BtoCに向けた、ビジネスマッチン
グ展示会。環境機運醸造を実施。